

科目名	English Reading 3			ナンバリング	COM152	授業形態	講義
対象学年	3	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	西村康平	担当教員					

授業の概要	English Reading 1, 2で学んだ英語リーディングの基本的なストラテジーを活用し、国際コミュニケーションに関わるより専門的な内容の文章を講読する。テキストの内容を理解するだけでなく、自身の知識や考えと比較し議論を行うことで、より高度な英語コミュニケーションの能力を身につけることを目的とする。						
到達目標	1. English Reading 1, 2で学んだ英語リーディングの基本的なストラテジーを活用し、より専門的な文章を理解することができる。 2. 英語文献から得た知識と、自身のこれまでの知識や考えを比較し、議論することができる。 3. 国際コミュニケーションに関わる専門的な内容について、自分自身の考えを表現することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	常に英語の paragraph 構造を意識し、文章を効率よく理解することを心掛けること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 国際コミュニケーションに関わる専門的な文章を理解することができる。 2. 英語文献から得た知識と、自身のこれまでの知識や考えを比較することができる。 3. 国際コミュニケーションに関わる専門的な内容について、自分自身の考えを表現することができる。	1. 国際コミュニケーションに関わる専門的な文章を素早く理解することができる。 2. 英語文献から得た知識と、自身のこれまでの知識や考えを比較し、議論することができる。 3. 国際コミュニケーションに関わる専門的な内容について、自分自身の考えを英語で表現することができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
レポート	○	○			○	○	50%
授業態度・授業への参加	○	○	○	○		○	50%

課題、評価のフィードバック	テキストのチャプターが終了するごとに、そのテーマについて自身の考えをまとめたレポートを提出する。提出されたレポートは、担当教員が採点し、コメントを入れた上で返却する。
---------------	---

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	イントロダクション	テキスト、講義の進め方、評価方などについて説明する。	
	第2回	Chapter 1: Discovering Grammar (1)	子供の文法発見について	
	第3回	Chapter 1: Discovering Grammar (2)	子供の文法発見について	
	第4回	Chapter 1: Discovering Grammar (3)	子供の文法発見について	レポート提出
	第5回	Chapter 2: Grammar Rules and Variations (1)	文法規則とその変異について	
	第6回	Chapter 2: Grammar Rules and Variations (2)	文法規則とその変異について	
	第7回	Chapter 2: Grammar Rules and Variations (3)	文法規則とその変異について	レポート提出
	第8回	まとめ(1)	第2回～8回のまとめを行う。	
	第9回	Chapter 3: Accents and Dialects (1)	言語の方言差について	
	第10回	Chapter 3: Accents and Dialects (1)	言語の方言差について	
	第11回	Chapter 3: Accents and Dialects (1)	言語の方言差について	レポート提出
	第12回	Chapter 4: Being Bilingual (1)	多言語話者について	
	第13回	Chapter 4: Being Bilingual (1)	多言語話者について	
	第14回	Chapter 4: Being Bilingual (1)	多言語話者について	レポート提出
	第15回	まとめ(2)	第9回～14回のまとめを行う。	
	試験	期末試験は行わない。		
授業の進め方		3, 4回の講義でテキストの1チャプターを読解する。チャプターが終了するごとに、各テーマについてのレポートを提出する。		
授業外学習の指示		【予習】テキストの該当部分を読み、内容を理解しておく。(90分) 【復習】テキストの内容および講義での議論について、自身の考えをまとめる。(90分) (授業外学習時間: 毎週 180 分)		

教科書	『The Wonderful World of Language』D. Crystal & N. Okada、成美堂 ISBN: 978-4-7919-3096-8 必要であれば、追加のプリントを配付する。
参考書	
参考URLなど	
その他	講義に関する連絡事項などはmanab@IMUIに掲載する。